

第8次 浜脇分区地域福祉推進計画について

1 はじめに

「人と人との繋がりの希薄化」(無縁社会)は、従来から言われてきた言葉ではありますが、高度経済成長期からの「核家族化」や、急激な社会の変化による「新旧価値観の違い」から来る「口出しの怖さ」「極度のプライバシー意識」等々、また、個人用電子機器の発達で個人化が進み、「人の繋がりの変化」も見られ、社会的な孤立・孤独・児童や高齢者に対する虐待・引きこもり・悪徳業者からの被害等々、我々を取り巻く環境は複雑で深刻な状況にあります。

これら「無縁社会」からの脱却を目指し、これから新しい形の「人と人との繋がりのある社会」に変えてゆく必要があろうかと考えています。

2 市社協「第8次地域福祉推進計画」

西宮市社会福祉協議会では、平成27年度から「第8次地域福祉推進計画」として

みんなで創り出す 共生の「まちづくり」

～あなたの“居る”まちを あなたが“生きる”まちに～

をテーマに、人と人とお互いの存在を尊重し合い、対等な関係を築きながら、一人ひとりが自分の役割と居場所をもって、共に生きていくことの実現に向けての活動を展開しています。

注)西宮市地域福祉計画では、「みんながつながり 支えあい 共に生きるまち 西宮」を基本理念に、平成28年～33年度にかけて取り組むことが発表されています。

3 浜脇分区の「地域福祉推進計画」

地域福祉の向上を担う我々は、身近な問題を集約し地域の福祉課題として捉えて「安心・安全・明るい地域」を作るために、「地域福祉でまちづくり」のための諸団体との連携を大切にし、「人と人との繋がり」をきめ細かな活動を通じて「ぬくもりのあるまちづくり」を心掛けたいと考え、浜脇分区の「第8次地域福祉推進計画」は、次のことを基本に活動を推進します。

- (1) 「まちづくり」を念頭に、自治連合会等への働きかけと活動の連携を積極的にし、ネットワークの再構築に努めます
- (2) 具体的な活動は、従来通りの8部会としますが、各部会は、「人と人との繋がり」を重視し、「生きがいづくり」を重視した活動を再確認し実施します
- (3) 浜脇地域においても既に始まっている「高齢者のつどい場」づくりを積極的に支援する策を検討し推進します。
- (4) 活動推進のための人材の拡充を推進します

なお、浜脇分区の活動テーマは、従来のテーマを継続使用し、次の通りとします。

「みんなで支えあう やさしまち浜脇」

～地域の中でいきいきと～